



【中野キャンパス】人文社会学部 教育学科 保育・幼稚園コース 講師

村山 大樹 Murayama Taiki

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 幼児教育・子ども学・教育工学・遊び・ICT



研究の概要

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

SDGs 目標 9 : 産業と技術革新の基盤をつくろう

本研究の目的は、**幼児期にふさわしいデジタル体験**と、それを保育活動に取り入れるための**具体的な方法論**を明らかにすることである。

これまで、幼稚園・小学校・中学校・不登校支援の場における ICT 活用の実践研究や教材・玩具開発に携わってきた。この中で幼児期のデジタル体験の必要性和有用性は見出されてきたが、それを保育実践にするための具体的な方法論を確立することが今後の課題となっている。

このためには、多様な教育現場での実践との比較から、幼児期ならではの**方法論の生成**が必要である。特に、幼児教育の特徴である**遊戯性**や、**環境構成**と**遊び**を通じた指導によって、子ども個々の学びを捉えていく教育方法を大切にしたい。

現在、①理論研究（遊び・学び・ICT 活用等）、②実践研究（各種教育現場）、③方法論考察を順次実施している。

本研究の遂行により、**新時代を生きる子どもたちとデジタルとの最初の出会いの在り方**をデザインすることに貢献したい。



図 1 保育現場での実践



図 2 ICT 教材の体験（大学授業）



図 3 保育活動の検討（保育者研修）

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

保育者が自信を持って ICT を活用した保育活動を実践できるようになり、幼児教育の充実に貢献することが本研究で期待される成果である。また、教育実践を叶える新たな教材・玩具等の開発につなげ、研究の成果を広く社会に還元したい。

デジタルの進化により、超効率化が押し進められる現代社会。研究を発展・深化させ、**デジタルの良さと危うさ**を丁寧に明らかにすることで、**翻って人にしかできないことや教育・保育の重要性**を改めて位置付けていくことが大切だと考えている。

- ・乳幼児向けの新しいデジタル体験を支える**教材や玩具の開発**に役立つと期待できる。
- ・保育者研修や保育者養成課程における**教育・研修プログラム**への利用が期待できる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【科研費】

- ・（若手研究 18K13136）「幼児教育における ICT の活用～年齢別プログラミング体験活動プログラムの開発～」

【出版物・論文】

- ・「あそびのたねずかん」
- ・「プログラミング的思考に留意した幼児向けプログラミング活動に関する実践研究」